

(3) 農業資金の利子補給について

昨年の冷湿害を受けた農業者に利子助成を実施。30戸、金額で4,220万円助成。

(4) 平成22年度有害鳥獣の駆除対策について

有害鳥獣駆除の体制は、北海道猟友会滝川支部新十津川部に年間委託している。(委託料36万円)。

平成22年度から農業者の自発的な駆除体制を強化するため、新十津川有害鳥獣対策協議会を設立する。また、「くくりわな」による捕獲を推進するため、狩猟免許取得者への費用を助成する。

(5) 緊急経済対策の実績見込について

・ 中小企業事業資金補償融資事業(3月末見込資金)

- ① 対象 6社
- ② 融資金額 1,345万円
- ③ 利子補給額 27万1,035円

・ 国、北海道融資制度利子補給事業(3月末申請見込)

数)

① 申請件数 6社20件

② 利子補給額

111万1,200円

(6) ポイントカード抽選会の結果報告

・ 開催日

平成21年12月13日(日)

・ 場所 改善センター

・ 抽選総本数

1,500本

・ 景品総額

142万3,190円

議員研修報告

町村議会議員特別セミナー

山田 秀明

場所 市町村職員中央研修所

(千葉県千葉市)

期間 平成22年2月9日から

10日まで

2月9日・10日と2日間の

日程で、千葉県にある市町村アカデミーで、町村議会議員

特別セミナーを受講してきた。今回の研修には、北海道から九州まで、町村議員50名が参加した。初日は、総務大臣官房審議官・金澤和夫氏よ

る「分権時代の地方財政」と題し、平成22年度の地方財政のあらましから、公債費負担対策、子ども手当の創設、そして高校の実質無料化について詳細に講演が行われた。

次に、元共同通信編集委員・尾形宣夫氏より「これからの政治展望と市町村」と題して、鳩山政権誕生から100日を振り返り、裏話を交えながら辛口の講演を公聴した。首相や幹事長の政治とお金の問題、また、連立政権のギクシャク感から、思うように舵を取れない状況や、民主党は政権慣れしていないので、期待はするが先行きが陰しいとの危惧した内容の講演だった。

2日目は、NTTデータ経営研究所取締役所長、元立教大学社会学部教授・斎藤精一郎氏による「日本経済の行方」と題して、現在の不況はどのようになっているかを詳細に説明していただき、このデフレトンネルから脱却する

には、純粋な知識と情熱、また、強靱な指導力を発揮できる新しい政治哲学を兼ね備えた政治家が必要と力説していた。

最後に、北海道大学観光学高等研究センター教授・敷田麻美氏による「観光・交流による持続可能な地域づくり」と題し、これからの観光は、地元の人たちが町や自分たちの生き方を誇りに思い、町外者を招き入れ、ともに楽しむ「観光」こそが地元住民の意識として大切で、地元にある観光資源を再認識し、町外にPRし、観光客を大きな気持ちで受け入れることが観光事業を一步前進させることに繋がると言っていた。こうした地元による地元のための新たな取り組みを実践することにより、地域に対する愛着が一層深くなり、最終的には、地域住民が元氣になり、産業の新たな展開に繋がると講演していただいた。

このような研修機会に感謝し、今後の活動に生かせるよう努力してまいります。

編集後記

今年が開町120年の節目の年で、様々な記念事業が行われます。移住ウォーキング、ラジオ体操、町民運動会等、健康づくりを促すイベントが盛りだくさん。都合のつく方はぜひ参加してみませんか。今年度は、町議会議員にと

って任期4年の最終年度にあたり、それぞれの想いで3月定例議会に臨み、予算審査特別委員会では、活発な質疑が行われました。今年度も広報作成委員として皆様にかかりやすい議会だよりをお届けできるように努力します。

この議会だよりが届く頃は農作業で、町全体が活気づいている季節です。豊作の年でありそうですように。

〔岩木〕

【議会広報特別委員会】

- 委員長 西永 勝治
- 副委員長 樋坂 里子
- 委員 青田 良一
- 山田 秀明
- 笹木 正文
- 岩木 雅徳